

10 2018
October

社会福祉法人 双葉福祉会
つつじが丘・ふたばランド保育園
牛久市田宮町199-1
〒300-1236 TEL029-871-6928

行事予定表

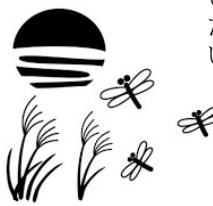
3	水	筑波山登山(5歳児)
4	木	読み聞かせ(5歳児)/サロン
9	火	巡回相談/ピヨピヨひろば
11	木	カレーの日
16	火	町探検(牛久二小2年生来園)
17	水	おべんとうデー
18	木	サロン
19	金	秋遊び交流会・牛久二小給食試食会(5歳児)
20	土	運動会
23	火	つつじが丘・ふたばランド交流会(5歳児)
25	木	誕生会
26	金	避難訓練
29	月	交通安全教室(2歳児以上)

台風もひつきりなしにやつて来て
梅雨のような日が続いた
豪雨と地震、災害に見舞われた夏だった
それでも、雨雲の間に、
中秋の名月も見られた
たわわに実った稲穂が

黄色いジュータンを
敷いたように美しかった
今では刈り入れが終わつた田では
白サギがエサをねらつて
身じろぎもせず立つて

十月はスカット爽やかになつて欲しい
澄んだ空気、青い空
ゆつたりと浮かぶ白い雲

秋あかねが舞い、子どもが追う
美しく色を染める自然の中で
子ども達と思い切り遊びたい



* 今月は、秋を五感で感じ、楽しむために、園外保育に沢山出かけようと計画していきます。
また、春に植えたサツマイモの収穫もとても楽しみですね。

山のつづじが丘駐車場から自分の力で登ります。登山中には大変な箇所もありますが、登り切ることで、達成感を感じて欲しいものです。

● 筑波山登山 (3日)



・ 今月も園内がカレーの美味しい匂いに包まれ、食欲が増します。食欲の秋、子ども達の身体も心も大きく成長しています。

● カレーの日 (11日)

・ 牛久二小の2年生が生活科の「町たんけん」の一つとして保育園に来園します。

● 町探検 (16日)

・ 牛久二小へ秋遊び交流会・給食試食会(19日)

・ 5歳児が、小学校で2年生と一緒に秋の自然物を使い遊び、その後は5年生と一緒に給食を食べます。就学への期待が深まりますように。

● つつじが丘・ふたばランド交流会 (23日)

・ 最近の誕生会では、少しずつ友だちの誕生日をお祝いしようとする気持ちが見られるようになります。嬉しい思います。

● 交通安全教室 (29日)

・ 子ども達が学んでいる交通ルール。大人はどうでしょう?特に送迎の時に乱暴な運転も見られヒヤヒヤすることがあります。お互いに気をつけましょう。

※ 運動会は 10月 20日 (土) 9時~12時50分
場所・牛久運動公園メインアリーナ

* 詳細については後日お知らせを配布します。

食べる・寝る・遊ぶ

・ じどもに自由と活動を

十月八日は体育の日。例年、子ども達の体力低下と体の異変の記事がニュースになる。幼児教育の研修会の内容も、知育に関わるものや障害児の対応、食育(アレルギー)、等々ばかりで、「体育的活動」「遊び」は見られなくなつた。

子育ちの基本は「食う・寝る・遊ぶ」「早寝・早起き・朝ごはん」である。知育についても、体力、健康と学力の相関関係が発表されて久しい。文科省が食育など言い出すとみんなそこになびいてしまうが、食育より、運動不足と肥満の方が問題である。最近は、子ども達が自由に、思い切り遊ぶ環境がなくなつた。元来、子ども達は活動的であつて、何事にも興味・関心を持ち、意欲的である。できないことにもチャレンジしたがる。しかし、最近の子ども達は、新しいことにチャレンジしたがらない傾向がある。僕たちはチャレンジしたがらない傾向がある。僕たちはそれをやつたことがないから出来ないと冗談する。やつたことがないことは出来ないかも知れないが、僕なら、きっと出来るようになるとチャレンジするのが「ふたばっ子」である。

▲ 子どもが本来持つているチャレンジ精神が、どんどん劣化している。原因是、チャレンジすることをどんどん取り除き、禁止していることである。危ないから、ケガしたら大変だからと、何でも取り除き禁止してしまう。本園の園庭に三角小屋がある。遊具メーカーのものは、両面にスベリ止め用の横棒が付いて、登りやすく、かなり低い。これでは子ども達にとつては、おもしろくない。もっと高くして、片面はスベリやすくして、登るのが難しくなつていて。子ども達は、登りにくい片面から登ろうとする。難しいから、出来ないから、チャレンジ魂を刺激する。危ないから取り除いては、子ども達の成

育する環境を劣化させ、子ども達の心と体を劣化させる。▲ある幼稚園を見学に行つた時、園庭を走つて来る子ども達に、若い先生が「走つてはだめ」と制止した。私は、その先生に「最近、子ども達がケガをして、保護者からクレームがあつたでしよう」と言った。「でも、平らな園庭で走れなければ、子ども達はどこも走れないよね。辛かつたでしよう。でも、子ども達のために、頑張つてね」としか言えなかつた。

先生は涙ぐんでいた。幼稚園の先生が辞めたくない。ために、頑張つてね」としか言えなかつた。近い、子ども達がケガをして、保護者からクレームがあつたでしよう」と言った。「でも、平らな園庭で走れなければ、子ども達はどこも走れないよね。辛かつたでしよう。でも、子ども達のために、頑張つてね」としか言えなかつた。近い、子ども達がケガをして、保護者からクレームがあつたでしよう」と言った。「でも、平らな園庭で走れなければ、子ども達はどこも走れないよね。辛かつたでしよう。でも、子ども達のために、頑張つてね」としか言えなかつた。



理事長 浅田 精利